



防災や住民の連携強める

富田林と岩手県大槌町が協定

11月29日、富田林市は岩手県大槌町と連携協力に関する基本協定を締結した。両自治体は、東日本大震災発生後の災害支援をはじめ、消防団同士の交流、J A大阪南が主体となり「奇跡の復興米」の栽培による交流などを続けてきたが、協定締結により、関係をさらに深めたい考え。

協定締結式は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで執り行われ、続いて「子どもプログラム」つなごう未来に、富田林市と大槌町の絆が開催された。昨年8月に現地に派遣・交流を予定していた市内の小中学生を代表する4名が、大槌町の復興に向けた応援メッセージを朗読。大槌町長からは、同町の復旧・復興についての講話がなされた。



河内長野で間伐を体験

大阪暁光高の1年生が参加

12月11日、学校法人千代田学園大阪暁光高等学校の1年生が、体験学習の一環として河内長野の森で間伐体験を受けた。

富田林市少年少女合唱団からは、同町の蓬萊島がモデルとされる「ひよっこりひよたん島」の合唱が披露された。両自治体の交流を深め、今後の自治体PRや住民同士の交流、水産物、農産物、産業界での交流や防災協力などでさらに連携していく考え。〔荒川〕

同校では4月から大阪千代田短期大学に設置される高野山大学と連携協定を結んでおり、文学部教育学科と連携した7年間の体験学習カリキュラムを通じて、人間性を重視した教育を行う。過去には河内長野駅前商店街や地場産業でのフィールドワークも実施。調査研究や年間約14回のプレゼン発表などを通じて、目指す方向性を明確にしてゆき、大学でのさらなる学びにつなげていく。

丘で陶芸体験

本格的な登り窯も堺市南部丘陵地域にあるハーベストの丘は、昨年4月に20周年を迎えた。豊かな自然環境の中で、四季折々の花が美しい花壇や、動物とのふれあい体験、農産物の加工体験やクラフト体験などが楽しめる。空中アスレチックや、シルバニアファミリーが住む村を再現したシルバニアパークなど家族向けの施設に加えて、本格的な登り窯を備えた里山陶芸工房もある。

同園の登り窯は3部屋の焼成室からなる連房式。焚口から薪をくべて下の部屋から順々に温度を上げた後、1200度以上に保ちながら約4日間かけて焼成する。陶芸体験だけなら入場しなくても参加できる。電動ろくろや手びねりの作品、ろくろを使わないお手軽陶芸、楽焼絵付けなど。初めての人も楽しめる。〔浅利〕

「保険料の還付」とだまされ 銀行口座を教える



12月4日午後、黒山署管内の90代女性宅に、役所の職員を名乗る男から電話で、「保険料の払い過ぎで還付金があります。振り込みますので、どちらの銀行をお使いか教えてください」と電話があった。その後、犯人からATMに誘導され、被害者の口座から指定された犯人の口座に現金約80万円を振り込まされた。犯人は、「夕方までに手続きする必要がある」といって

慌てさせるが、電話で還付金は詐欺の手口のため、署は注意を呼び掛けている。

☆☆☆☆☆
車内の財布が盗まれる
☆☆☆☆☆

11月21日午後、大野台4丁目の路上に止めていた1時間半ほどの間に、トラックの車内に置いていた財布と現金が盗まれた。

☆☆☆☆☆
自転車盗まれる
☆☆☆☆☆

11月12日夕方から翌朝までの間に、青葉丘の住宅に止めていた自転車が盗まれた。

車に足を挟まれる



11月11日夜中、高辺台で40代女性から車に足を挟まれて動けなくなったと通報があった。消防が駆けつけると、タイヤと車体の間に足を挟まれており、救助し

☆☆☆☆☆
自転車の後輪に足を挟まれる
☆☆☆☆☆

11月17日夕方、大野台3丁目の路上で12歳女児が自転車を運転中に転倒し、左足が後輪のスポークとフレームの間に挟まり動けな

11月29日夕方から12月4日夜までの間に藤沢台6丁目住宅に止めていた自転車が盗まれた。

10月までの間に、当時15歳の15人のうち7人を逮捕、8人を書類送検した。少年らの容疑は6月16日深夜、若松町西の昭和町北交差点付近を単車10台に分乗して暴走するなどして交通の危険を生じさせた共同危険行為の疑い。

6月に若松町西で富田林署は7月下旬から

☆☆☆☆☆
深夜に店内が荒らされる
☆☆☆☆☆

単車10台で暴走少年7人を逮捕

11月2日夜、東野中2丁目の住宅で2歳女児が遊んでいて約5ミリくらいのビーズを左の鼻の中に入れてしまいがなくなった。

☆☆☆☆☆
鼻に入れたビーズが取れなくなる
☆☆☆☆☆

12月2日夜、東野中2丁目の住宅で2歳女児が遊んでいて約5ミリくらいのビーズを左の鼻の中に入れてしまいがなくなった。

第102回

やすらぎの村便り

「デイサービス」でできる「コロナ対策」

春に緊急事態宣言が発令されたから外出する頻度が少なくなった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。外に出る機会が減って引き籠りがちな人と、人のコミュニケーションが減り、入ってくる情報の少なさからネガティブな思考になったり、太陽光を浴びる頻度が減り、生活リズムが崩れがちになります。また、高齢者の方は健康な状態でも運動量の低

下からフレイルの状態になる恐れがあります。このような事態を避けるためにも、安心して定期的な外出できる場としてデイサービスを提供していきたいと、私は考えています。

デイサービスでの感染対策としては、まず、お迎え時にご利用者様の検温をさせて頂き、37.5度以上の発熱が見られる場合は、ご利用を控えていただいています。また、マスクの常時着用をお願いしており、来所時には手洗いうがいの後、アルコールによる手指の消毒を行っています。デイルームでは密になりすぎないようにご利用者様の席を設定し、飛沫対策として卓上にアクリル板

を設置しています。また、定期的な換気とアルコールによる設備の消毒、加湿器やオゾン発生装置を設置し、ウイルスに感染しにくい環境を創出しています。さらに、スタッフも検温やマスクの常時着用を徹底し、インフルエンザの予防接種も受けております。そして、当デイサービスでは毎日日替わりで様々なイベントを開催しております。簡単なゲームで体を動かして運動不足を解消したり、講師を招いて勉強会を開き様々な情報をお伝えしたり、畑で作物を収穫し調理して食べていただくなど様々な体験をご提供させていただき、デイサービスでできる「コロナ対策」としてまいります。どうぞ安心して楽しんでください。

やすらぎの村デイサービスセンター
くみの木営業所
所長 木下拓磨

キタバ薬局グループ 0721(28)6261(代)
富田林市向陽台 2-2-15